

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公表番号】特表2006-508505(P2006-508505A)
 【公表日】平成18年3月9日(2006.3.9)
 【年通号数】公開・登録公報2006-010
 【出願番号】特願2004-554770(P2004-554770)
 【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)
F 2 1 V 7/00 (2006.01)
H 0 1 K 1/32 (2006.01)
F 2 1 V 29/00 (2006.01)
 F 2 1 Y 101/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 M 1/00 K
 H 0 1 K 1/32 B
 F 2 1 M 7/00 K
 F 2 1 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月6日(2006.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

68Wより大きい電力で動作することが可能な電気ランプ/反射器ユニットであり、光軸を持つ凹状反射面を持つ反射部を含む反射体と、前記反射体と一体化している前記光軸のまわりの中空首状部とを有する電気ランプ/反射器ユニットであって、電気ランプが、

(a) 光透過ランプ容器であって、幾何学中心を持つ所定の形状の、一般に球形又は楕円形の空洞を囲む石英ガラス壁部を有し、前記壁部に、少なくとも部分的に赤外線反射・可視光透過被覆が設けられ、前記空洞が実質的に線状の電気的光源を収容する光透過ランプ容器と、

(b) 前記壁部中に完全に埋め込まれ、前記電気的光源に接続される金属箔と、

(c) 互いに対向するように配設され、両方とも封止部を有する第1端部及び第2端部と、

(d) 埋め込まれる前記金属箔に接続される各々の電流導体であって、前記封止部を通過して金属箔に接続され、前記ランプ容器から外部に出る各々の電流導体と、

(e) 前記ランプ封止部が通される、前記ランプ容器を保持する首状部内の位置決め金属部材と、

(f) 取付リングの下の、前記第1端部の前記封止部が通されるセラミックインサートとを有し、前記電気ランプが、前記第1端部が少なくとも部分的に前記首状部内に位置し、前記空洞が前記反射部内に位置し、前記電気的光源が大部分は前記光軸上に位置し、前記セラミックインサートが前記ランプの動作中前記第1端部から熱を放散させるのに効果的であるように前記反射体内に配設される電気ランプ/反射器ユニット。

【請求項2】

前記電気ランプが少なくとも最低限のEPACTのエフィカシ規格を満たすことを特徴とす

る請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 3】

前記電気ランプが、約 1750 時間において元の値の 90% より高い光出力を供給する一方で少なくとも約 3000 時間のメジアン寿命を呈することを特徴とする請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 4】

前記第 1 端部電流導体が前記第 1 端部の前記金属箔に接続される接続箇所が、前記幾何学中心から距離 d_c^I 離れたところにあり、前記第 1 端部が、前記幾何学中心から測定して長さ l_{ep}^I を持ち、前記第 2 端部電流導体が前記第 2 端部の前記金属箔に接続される接続箇所が、前記幾何学中心から距離 d_c^{II} 離れたところにあり、前記第 2 端部が、前記幾何学中心から測定して長さ l_{ep}^{II} を持ち、距離 d_c^I 、 d_c^{II} と各々の長さ l_{ep}^I 、 l_{ep}^{II} の比が、 $d_c^I / l_{ep}^I > 0.75$ 且つ $d_c^{II} / l_{ep}^{II} > 0.75$ であることを特徴とする請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 5】

前記セラミックインサートが、前記ランプ容器が通る穴を中央に持ち、ガラス反射器の内側部分にきつく嵌まることを特徴とする請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 6】

前記反射体がレンズによって閉じられることを特徴とする請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 7】

前記ランプ容器の前記空洞が、楕円形をしており、赤外線反射・可視光透過被覆を具備することを特徴とする請求項 6 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 8】

螺旋状の線状白熱体が前記空洞内に配設され、前記白熱体によって生成される赤外光の形態の熱が該白熱体に反射し戻されることを特徴とする請求項 7 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 9】

前記第 2 端部電流導体が、前記第 2 端部から突き出て、第 2 電気伝導接続部を介して前記反射体の前記首状部に案内され、前記第 1 端部電流導体が同様に第 1 電気伝導接続部に接続されることを特徴とする請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 10】

前記電気伝導接続部が少なくとも部分的にニッケル又はステンレス鋼の接点部材から作成されることを特徴とする請求項 9 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 11】

前記被覆が多層干渉フィルタを有することを特徴とする請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 12】

前記被覆が 4 7 層からなる Nb_2O_5 / SiO_2 の赤外線反射干渉フィルタであることを特徴とする請求項 11 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 13】

電気伝導接続部を備える前記ランプ容器が、前記第 2 電気伝導接続部及び前記第 1 電気伝導接続部が前記セラミックインサートの穴を通るように前記位置決め金属部材及び該セラミックインサートを通ることを特徴とする請求項 9 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 14】

前記接続部が前記セラミックインサートからアイレットの外に出ることを特徴とする請求項 13 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 15】

前記アイレットが、スカート状口金に取り付けられるヒューズワイヤ及びニッケルワイ

ヤとの接続を達成することを特徴とする請求項 1 4 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット。

【請求項 1 6】

請求項 1 に記載の電気ランプ / 反射器ユニット用の電気ランプ。

【請求項 1 7】

PAR38ランプ及びランプ反射器のユニット用のランプであって、前記ランプが、請求項 1 に記載の電気ランプを有し、前記電気ランプが、68Wより大きい電力のハロゲンランプであり、該ハロゲンランプによって生成される赤外線エネルギーを該ハロゲンランプのフィラメントに反射し戻す赤外線フィルムで被覆され、前記ハロゲンランプが、効率向上を達成すること、最低限のEPACTのエフィカシ規格を満たす若しくは上回ること、又は約1750時間において元の値の90%より高い光出力を持ち、少なくとも約3000時間のメジアン寿命を呈すること、のうちの少なくとも1つのために構成されるランプ。

【請求項 1 8】

PAR38ランプ及びランプ反射器のユニット用のランプであって、前記ランプが、請求項 1 に記載の電気ランプを有し、前記電気ランプが、イオン化可能なガス中の電極対を有し、前記電気ランプが、68Wより大きい電力で動作し、該電気ランプによって生成される赤外線エネルギーを前記電極対の間の空間に反射し戻す赤外線フィルムで被覆され、前記電気ランプが、効率向上を達成すること、最低限のEPACTのエフィカシ規格を満たす若しくは上回ること、又は約1750時間において元の値の90%より高い光出力を持ち、少なくとも約3000時間のメジアン寿命を呈すること、のうちの少なくとも1つのために構成されるランプ。